

# PRODASのSpring Framework 新バージョン対応作業

仕様書

## 1. 業務目的

本件は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）システム計算科学センター高性能計算技術利用推進室で運用しているコンピュータプログラム等検索システム「PRODAS」をSpring Frameworkの新バージョンに対応させることを目的とする。

## 2. 契約範囲

- (1) PRODASのSpring Framework新バージョン対応に係るプログラム改変
- (2) 動作環境構築と動作確認
- (3) 作業報告資料作成

## 3. 実施場所

本仕様に定める業務を実施する場所は、以下のとおりとする。

茨城県那珂郡東海村大字白方2番地4

日本原子力研究開発機構

原子力科学研究所 情報交流棟南ウイング307号室（一般区域）

その他、事前に協議して定めた場所

## 4. 実施期日

令和8年4月1日～令和8年8月31日までとする。

## 5. 業務内容

### (1) PRODASのSpring Framework新バージョン対応に係るプログラム改変

Spring Frameworkのバージョンアップに伴い、PRODASサーバ上で動作しているSpring Framework 6.xをSpring Framework 7.xへ移行し、PRODASが正常動作することを確認すること。Spring Framework 7.xについては、作業時点での最新版とする。

また、Spring Framework移行に伴い以下についても実施する。

- ・情報検索画面の●機構外提供のチェックボックスに「提供否」と「提供未（いずれ提供する予定）」を追加する（ただし機構外向けには非表示とする）。

移行に伴い正常動作しない場合には、PRODASプログラムの改変も行うこと（移行に起因しないものは対象外とする）。また、以下も実施する。

- ・脆弱性の調査を行い問題が見つかれば対処すること

### (2) 動作環境構築と動作確認

上記(1)の移行及び改変についてPRODASサーバ（テスト環境）上に環境構築を行うこと（必要に応じて各種パラメータの設定を行うこと）。また、構築した環境において、別紙1に示すアクション一覧に対して動作確認を行うこと。OSはwindowsを対象とし、ブラウザはEdge、Chrome、Firefoxを対象とすること。

### (3) 作業報告資料作成

上記の作業内容について報告資料にまとめ、作業報告書として提出すること。なお、環境構築については、開発環境の構築手順及びサーバ環境のバージョンアップ手順を含めること。また、動作確認については、テスト環境の設定変更手順を含めること

## 6. 実施体制

受注者は機構が原子力の研究・開発を行う機関であるため、高い技術力及び高い信頼性を社会的にもとめられていることを認識し、機構の規程等を遵守し安全性に配慮し業務を遂行しうる能力を有する者を従事させること。

## 7. 支給品及び貸与品等

### (1) 支給品

- イ. 電気、ガス、水
- ロ. 記録用紙、事務用品

### (2) 貸与品等

- イ. 机、椅子、計算機システム
- ロ. 業務を実施するために必要なマニュアル及び参考図書。  
ただし、受注者が求める内容が資料等にまとめられていない場合は、機構の了解を事前に得た範囲で自ら調査、確認を行うこと。
- ハ. コンピュータプログラム等管理システム（PRODAS）及び関連システムを機構が認めた範囲内で使用できるものとする。

## 8. 納入品目

- (1) 資本関係・役員の情報、本契約の実施場所、従事者の所属・専門性（情報セキュリティに係る資格・研修等）・実績及び国籍についての情報を記した書類

契約締結後速やかに

- (2) 工程表

契約締結後速やかに

- (3) 議事録

適宜

- (4) テスト仕様書兼成績書

納品時

- (5) 作業報告書

納品時

- (6) ソースコード等（修正があった場合のみ）

納品時

上記(1)～(3)については、機構が別途指定する時期に、電子ファイルを電子メール等で送付すること。

また、納品時に、上記(1)～(6)全ての電子ファイルを格納した電子情報媒体（CD-R等）を納入すること。

※納品資料の電子ファイルは、MS-Word、Excel、PowerPoint形式(いずれも2016以降)とすること。紙の資料をスキャンして作成した資料はPDF形式とすること。日本語で作成すること。

※(2)～(5)は機構のレビューを受け、了解を得ること。

※(4)、(5)は今後のシステムの改良・改善にあたり、機構が単独で機能及び構成を理解するに十分な内容とすること。

※作業工程については、機構担当者が十分な確認時間や作業時間を取れるよう、各作業工程に余裕を持って計画すること。(例えば、作業期間が5ヶ月ある場合に、2ヶ月で納品するような短期間な工期にしないこと。)

## 9. 納期及び納入場所

(1) 納期： 令和8年8月31日

(2) 納入場所： 茨城県那珂郡東海村大字白方2-4

日本原子力研究開発機構 システム計算科学センター  
高性能計算技術利用推進室

## 10. 検収方法等

本仕様書の定めるところに従って納入品目が納品され、その内容が妥当であると機構が認めたときをもって検収完了とする。

## 11. 特記事項

- (1) 受注者は業務を実施することにより取得した当該業務及び作業に関する各データ、技術情報、成果その他のすべての資料及び情報を当機構の施設外に持ち出して発表もしくは公開し、または特定の第三者に対価をうけ、もしくは無償で提供することはできない。ただし、あらかじめ書面により機構の承認を受けた場合はこの限りではない。
- (2) 受注者は異常事態等が発生した場合、機構の指示に従い行動するものとする。また、契約に基づく作業等を起因として異常事態等が発生した場合、受注者がその原因分析や対策検討を行い、主体的に改善するとともに、結果について機構の確認を受けること。
- (3) 受注者は従事者に関しては労基法、労安法その他法令上の責任及び従事者の規律秩序及び風紀の維持に関する責任を全て負うものとする。
- (4) 受注者は機構が伝染性の疾病（新型インフルエンザ等）に対する対策を目的として行動計画等の対処方針を定めた場合は、これに協力するものとする。
- (5) その他仕様書に定めのない事項については、機構と協議のうえ決定する。

## 12. 検査員及び監督員

検査員

- (1) 一般検査 管財担当課長

監督員

- (1) 内容の妥当性確認 システム計算科学センター高性能計算技術利用推進室室長

## 13. グリーン購入法の推進

- (1) 本契約において、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法

律)に適用する環境物品(事務用品、OA機器等)が発生する場合は、これを採用するものとする。

- (2) 本仕様に定める提出図書(納入印刷物)については、グリーン購入法の基本方針に定める「紙類」の基準を満たしたものであること。

以 上

## ■アクション一覧

番号	アクション 定義名	メモ	処理内容
01	*****	利用者判定	利用者の IP アドレスにより、利用者の判定を行い、利用者区分を決定する。
02	*****	検索条件（プログラム・データベース）	検索条件設定画面に表示するデータを取得する（プログラム・データベース）
03	*****	新着情報	新着情報画面に表示するデータを取得する
05	*****	検索処理	検索条件より検索を行い、検索結果を保持
06	*****	詳細情報取得	プログラム等の登録番号から、プログラム等の詳細情報を取得する
07	*****	通知書出力処理	コード情報詳細表示画面に通知書を出力する
10	*****	ログイン処理	システム管理者のログイン処理。ユーザ ID・パスワードの判定を行う。
11	*****	未承認データ取得	状態が未処理のプログラム等の一覧を表示するためのデータを取得する。
12	*****	登録済みコード（通知書等出力）	登録済みのプログラム等のデータを全件取得する
14	*****	ログアウト処理	システム管理者のログアウト処理。
15	*****	承認	前画面で選択したプログラム等の登録番号を保持する。
16	*****	承認処理	プログラム等の承認処理を行う。 入力した登録番号を書き込む。プログラム等の状態を未処理⇒承認済み
17	*****	承認成功判定	承認処理の結果をうけ、メッセージボックスを表示する処理
18	*****	組織情報登録ログイン	組織情報管理者のログイン処理。ユーザ ID・パスワードの判定を行う。
19	*****	組織情報登録	専用の EXCEL フォームより組織情報データの登録を行う
20	*****	組織情報登録結果	組織情報の登録結果を表示する
30	*****	担当者情報管理画面	担当者情報管理画面に表示する既存担当者の情報を取得する。
31	*****	担当者情報削除処理	選択された担当者情報を削除する（削除フラグの変更のみ）。
32	*****	担当者情報登録画面	担当者情報登録画面に表示するデータを取得する。

番号	アクション 定義名	メモ	処理内容
33	*****	担当者情報登録処理	担当者の情報を DB に書き込む。
34	*****	担当者情報修正画面	担当者情報修正画面に表示する、利用者のデータを取得する。取得するのは、前画面で選択した利用者のデータ。
35	*****	担当者情報修正処理	担当者の情報を DB に書き込む（修正）
36	*****	操作ログ検索画面	操作ログ検索画面の初期表示処理。
37	*****	操作ログ一覧画面	操作ログ一覧画面に表示するデータを取得する。
38	*****	一時保存データの有無 チェック（プログラム）	ログインユーザが入力者となっている一時保存中のプログラムの有無をチェックする。
39	*****	一時保存データの有無 チェック（データベース）	ログインユーザが入力者となっている一時保存中のデータベースの有無をチェックする。
40	*****	登録番号の保持	一時保存されているデータの登録番号を保持し、一時保存データ編集確認ダイアログボックスを表示する
42	*****	一時保存データ廃棄処理 （プログラム）	一時保存テーブルに有るデータを廃棄する
43	*****	一時保存データ廃棄処理 （データベース）	一時保存テーブルに有るデータを廃棄する
44	*****	コード情報入力画面データ （プログラム）	コード情報入力画面（プログラム）に表示するデータを取得する 一時保存のデータがあるときは一時保存テーブルから取得
45	*****	コード情報入力画面データ （データベース）	コード情報入力画面（データベース）に表示するデータを取得する 一時保存のデータがあるときは一時保存のテーブルから取得
46	*****	コード情報登録前確認 画面データ（プログラム）	前画面のデータを保持し。登録前確認画面に表示するデータ。
47	*****	コード情報登録前確認 画面データ（データベース）	前画面のデータを保持し。登録前確認画面に表示するデータ。
48	*****	コード情報登録処理 （プログラム）	入力したプログラム等の情報を DB に書き込む処理。
49	*****	コード情報登録処理 （データベース）	入力したプログラム等の情報を DB に書き込む処理。
50	*****	コード情報登録成功判定	コード情報の登録処理の結果をうけ、メッセージボックスを表示する処理。
51	*****	一時保存処理（プログラム）	入力したプログラム等の情報を DB に書き込む処理。～一時保存テーブルに書き込む。

番号	アクション 定義名	メモ	処理内容
52	*****	一時保存処理（データベース）	入力したプログラム等の情報を DB に書き込む処理。～一時保存テーブルに書き込む。
53	*****	コード情報修正画面データ（プログラム）	コード情報修正画面（プログラム）に表示するデータを取得する
54	*****	コード情報修正画面データ（データベース）	コード情報修正画面（データベース）に表示するデータを取得する
55	*****	コード情報修正処理（プログラム）	修正画面で入力したプログラム等の情報を DB に書き込む処理。
56	*****	コード情報修正処理（データベース）	修正画面で入力したプログラム等の情報を DB に書き込む処理。
57	*****	一時保存一覧（プログラム）画面	一時保存されたプログラムのデータを全件取得する。
58	*****	一時保存一覧（データベース）画面	一時保存されたデータベースのデータを全件取得する。
59	*****	アクセスログ情報出力画面	アクセスログ情報出力画面の初期表示処理。
60	*****	アクセスログ情報出力処理	アクセスログ情報出力画面で CSV ファイル出力処理。
61	*****	表示項目指定画面	表示項目指定のデータを取得する。
62	*****	表示項目指定画面	表示項目指定のデータを保存する。